

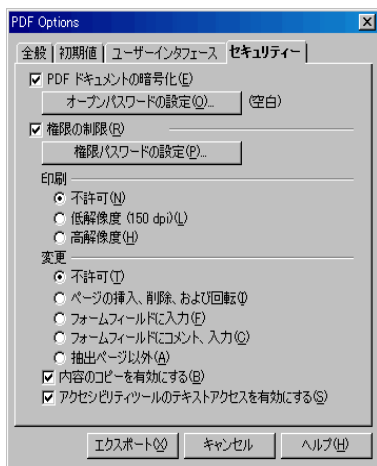
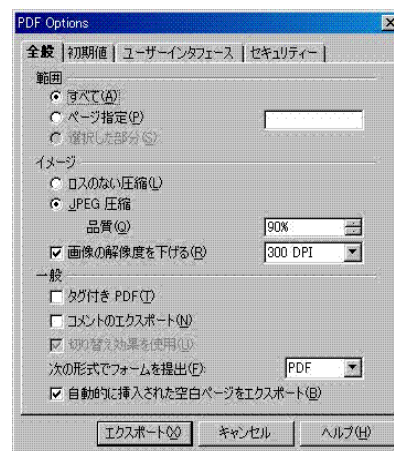
第11回 OpenOffice.org 2.0.4を試す ～ PDF機能の拡張 ～ 2006/10/25

マイクロソフト社のオフィスツールの Word は優れたワープロソフトのひとつです。しかし、ネットなどで配布する場合、マルチプラットフォーム(Windows、Mac、Linuxなど)ではない「Word」ですので、そのままネット配布するわけにはゆきません。そのための共通のファイル書式として「PDF」が使われています。しかし、このPDF文書作成の機能をマイクロソフト社の「Word」は備えてはいないのです(当然！)。そのため、PDF作成には、他のソフト(アクロバットや、その他にPDF作成プリンタードライバーなど)を組み込むことが必要になります。

OpenOffice.org はフリーソフトでありながら、マイクロソフト社の Word がない「PDF文書作成機能」を自分自身の中に備えているのです。、そのため、ワープロのメニューの中に「PDF作成」のメニューが備わっており、その他のソフトを組み込む必要もありません。しかも、OpenOffice.org 2.0.4 へのバージョンアップにともない、PDF作成機能が大幅に向上しているのです。今回は、このPDF作成機能の拡張について紹介してみましょう。

OpenOffice.org の PDF作成機能の向上

OpenOffice.org では、ワープロ、表計算、図形描画、プレゼンテーションなど全ての機能において、出力ファイルをPDF文書化が以前からすでに可能となっています。旧バージョンにおいても、詳細な設定として、文書中にある図の解像度指定などが可能でしたが、今回のバージョンアップでは、さらにセキュリティ関連の指定も可能となりました。「パスワード付PDF文書」の作成や、閲覧時に「印刷機能の禁止」、「コピー禁止」などの、PDF文書に対する諸権限の設定も可能となったのです。



PDFファイル作成設定ダイアログ

PDF文書を閲覧するとき、誰でも見れるPDF文書は以前から作成可能でした。しかし、PDF文書によっては、パスワードを設定を必要とするものも少なからずあります。もちろん、アドビの「アcroバット(有料ソフト)」を組み込めば、「パスワード付きPDF文書の作成」は可能でした。今回は、OpenOffice.org だけで、パスワード付きのPDF文書の作成まで出来るようになったのです。

その操作は、標準メニューの「ファイル」から「PDFへのエクスポート」をクリックすると、作成するPDF文書のファイル名入力が出てきます。適当なファイル名を入れると、右図のようなダイアログが出てきます。見ての通りのダイアログで

すが、このダイアログが表示しているのは「全般」というタグです。ここには、図版の解像度指定をする部分などが良く使われるものがあります(ダイアログの中央部分にあります)。

パスワード付きPDFファイルの作成

ダイアログのその他のタグを見ると、全般のほかに、初期値、ユーザーインターフェース、セキュリティがあります。今回紹介する機能はPDF文書の「セキュリティ機能の設定」ですから、「セキュリティ」タブをクリックしてみましょう。すると、ダイアログは左図のように表示されます。大きく分けて、2つの設定項目があります。

ひとつは、PDF文書を開く際にパスワードを要求するように設定するものです。組み込まれたパスワードがなければ文書が閲覧できなくなります。この機能は、PDF文書をネット配布するときに重要な機能となります。特定の人だけに

配布するケースがそれに当たります。

もうひとつは、PDF文書の権限の設置に関するものです。PDF文書の印刷許可・不許可や、アcroバットを使えばPDF文書の改変ができるのですが、その変更許可・不許可などもあります。また、文書内容のコピーの許可・不許可などの設定ができるようになっています。どれほど有効かは分かりませんが、アcroバットリーダーを使った場合(ほとんどのケース)、PDF文書の印刷が出来なくなったり、PDF文書のテキストをコピー&ペーストしようとしても出来なくする機能が使えます(確認済)。この権限の抜け穴はいくらでもあると思いますが、通常の使用としては有効でしょうね。

パスワード付や、印刷禁止、コピー禁止のきPDF文書の作成例

パスワード付きのPDF文書(パスワードは「password」)の **見本(パスワード付)** や、印刷禁止noPDF文書の **見本(印刷禁止)** や、PDF文書の内容のコピー&貼り付けを禁止したPDF文書の **見本(コピー不可)** なども作成しましたので、試してみたいひとはご覧ください。